

<中間報告会>

平成29年11月23～24日、中間報告会が行われました。事業の年度中間報告に加え、今後の産学連携人材育成事業の方向性や、各事業の自走化に向けた取組や課題についても議論を行い、各大学等の知見・ノウハウの共有化を図り、サービス産業における経営人材育成に向けた共通認識を醸成するとともに、採択校間の関係強化はかりました。本学からは、下地芳郎観光産業科学部長が参加しました。

今年度は、株式会社 JTB 総合研究所が、平成29年度産学連携サービス経営人材育成事業（プログラム開発の強化・効率化、サービス経営人材育成に関する横展開及び効果検証等調査業務）を受託し、シンポジウム・セミナー・報告会等を運営しています。

産学連携サービス経営人材育成事業中間報告会 次第

【日時】平成29年11月23日（木）～24日（金）

23日（木） 第Ⅰ部 懇親会 < 4階フォレストホール> 13:00～18:00
< 13階フォレストハウス> 18:30～20:30※
24日（金） 第Ⅱ部 < 4階フォレストホール> 9:30～12:30

※懇親会の開始時刻は前後する可能性があります

【場所】JTB フォレスト永山

第Ⅰ部 大学からの進捗報告・テーマ別討議（300分）

目的：各大学が抱える課題や取組の方向性を共有し、経営人材育成に向けた知見の横展開を図る

| 項目 | 時間 | 内容 |
|-------------------|----------------------------|--|
| 事業進捗報告 (各大学) | 13:00～15:00 (1校5分程度で発表) | 産学連携事業の中間報告 (採択校18校) |
| 休憩 10分 | | |
| 分野別報告 (JTB 総研) | 15:10～15:30 | 各シンポジウムの実施報告 (10分×2回分) |
| 全体討議 | 15:30～16:30 | 関西学院大学 山本昭二教授 テーマ①「地域サービス人材育成の方向性」(P) |
| | 16:30～17:30 | グループ討議 |
| | 17:30～18:00 | グループ討議報告 |

第Ⅱ部 全体討議・サービス生産性の向上とマネジメント人材の育成（180分）

目的：今後の産学連携人材育成事業の方向性も踏まえ、各事業が自走化していくための取組について議論・論点の整理を行う

| 項目 | 時間 | 内容 |
|------|-------------|-------------------------------------|
| 全体討議 | 9:30～9:50 | 「サービス産業の人材育成に向けた取組」(経産省) |
| | 9:50～10:30 | 京都大学 原良憲教授 テーマ②「海外大学との連携について」(P) |
| | 休憩 10分 | |
| | 10:40～11:20 | ※グループ討議 |
| | 11:20～12:10 | グループ討議の報告 |
| | 12:10～12:30 | まとめ |

琉球大学 沖縄 21世紀ビジョンを担うグローバルサービス経営人材の育成

上半期の成果

(観光)

(1) 大学における取組

- ・ 講義5講座（飲食ビジネス、宿泊サービス、通訳サービス、サービスマネジメント、スポーツビジネス）とインターンシップ特別コース（3コース）を開講。述べ220名が受講。外部講師は県内企業マネジメント層から15名。
- ・ 講義に関するニーズ調査実施。（有効回答数135。）結果を取りまとめ、次年度以降反映。
- ・ 学内承認を経て、文科省への新学部設置申請完了／設置申請承認。

(2) 企業・産業界との連携

- ・ 日本トランスオシャン航空と課題解決型インターンシップ「JTA×琉球大学インターンシップ特別コース」を開講。
①機内販売商品「ちゅらちゅらピアス」販売 ②web「PHOTOGENIC TRIP」制作・公開 ③東洋大学と共に滞在型旅行商品企画・販売 を実施。
- ・ かりゆしと包括連携協定を締結。かりゆし基金（海外研修プログラム）の継続と、インターンシップ受入、課題解決型講義への課題提供（施設見学含む）などを予定。
- ・ 沖縄ツアーリストによる寄附講座「旅行ビジネス論」開講の確約を得る。40名が受講可能となる。
- ・ 富士通によるビッグデータ活用の講義開講の確約を得る。55名が受講可能となる。

下半期の動き（PR点、上半期の課題を踏まえた修正点）

- ・ 講義5講座（交通サービス、国際物流、旅行ビジネス、ビッグデータ活用、グローバルサービス経営）を開講、述べ161名が受講予定。
- ・ ANA Cargoによる沖縄貨物ハブ施設見学、郵船クルーズによる飛鳥Ⅱ見学を実施、基幹産業の物流、近年寄港数が増加しているクルーズについて、現場を学ぶ。
- ・ 沖縄ファミリーマートの「インバウンド対応」、かりゆしの「暮らす旅・グラビング」、沖縄ツアーリストの「ホテルブッキングによる東海岸観光強化策」、日本トランスオシャン航空の「CS研修から学ぶおもてなし」について施設見学と調査を実施。その結果を各企業を招いた報告会にて発表する。
- ・ サービス経営人材育成委員会では、委員と学生が交流できる会を計画。

1

(参考資料)

JTA×琉球大学インターンシップ特別コース（観光科学科長 平野典男）

①JTA 機内販売商品企画「ちゅらちゅらピアス」

学生2名が担当。「機内販売を通して地元へ貢献する」「宮古島ならではの商品を発掘し、販売を通じて宮古島をアピールする！」という課題を解決。



②JTA web美ら島物語の特集ページ制作「PHOTOGENIC TRIP」

学生3名が担当。JTAのwebサイト「美ら島物語」の「20代の閲覧数を増やすためのweb制作」「若年層へ宮古島の魅力を発信する！」という課題を解決する。テーマは「20代の女子旅」



2

(参考資料)

③JALJTAセールス 東洋大学との合同インターンシップ

本学学生2名、東洋大学国際地域学部生4名にて実施。「インバウンドをターゲットとした着地型旅行商品」を企画する。結果→①ハローキティ特別コラボハイヤーで行く沖縄女子旅インスタ倶楽部 ②世界にひとつだけのかりゆしウェアを作ろう！ ③琉球グラスで飲もう！3酒造巡りツアー ④沖縄空手を世界に発信！～芯から感じるうちなー魂～ ⑤おきなわん×あめり感～ディープなコザの世界へご案内！～



通訳サービス概論 (国家資格通訳案内士 大城明緒)

通訳案内士育成及び国際ビジネス現場で活躍できる通訳人材育成を視野に入れ、通訳案内士の体験実習や、今年度は同時通訳、逐次通訳の実習も行った。



3

以下に両日のレポートが掲載されています。

1日目

https://www.service-jinzai.go.jp/report_session1.html

2日目

https://www.service-jinzai.go.jp/report_session2.html